



～ 自他共栄～ NO.16

2024年11月11日

発行責任者 根岸 大智

編集責任者 情 宣 部

2024年度 年末手当満額獲得闘争
第3回交渉(会社の考え)を前に青年部員の声をぶつける！！

青年部 本社要請行動実施

11月5日、全国青年部は本社会議室において、年末手当満額獲得に向け本社要請行動を行ないました。

冒頭、根岸青年部長が要請文を読み上げ、「慢性的な要員不足のなか、鉄道貨物輸送の社会的使命を果たし、安全・安定輸送を担ってきた青年部員の奮闘に対し、上半期の業績を理由に手当抑制の考え方は納得いくものではない。将来にわたりJR貨物で働き続け、生き生き・伸び伸びと働きがいを実現し、全青年部員が充実した生活を送るためにも、満額回答という誠意ある回答を求める」として要請行動に入りました。要請内容の要旨は以下の通りです。

- ・慢性的な要員不足の中、職場の青年部員は、努力して貨物列車を動かしている。一人当たりの労働密度が高まっている。
今いる青年部員を手放さないためにも満額回答を示すべきである！！
- ・内定者数が現時点、全国で定員に達していない。期末手当は求人票にも反映する。優秀な人材を確保するため賃金労働条件の改善は必要である！！
- ・会社は、給与面は「世間的に悪くない」と言っているが、他社と給与比較して転職してしまった青年部員がいる。離職を防止するためにも満額回答を示すべきだ！！
- ・輪軸不正問題に対して、駅では明けでの組成方手配対応、指令は組成方変更の手配や休活判断、検修は臨時検査や輪軸組み換えて対応してきた！！
- ・年末に向けた貨車の運用復帰のため、職場の青年部員は今も奮闘している！
- ・信頼回復に向け青年部員は職場で努力していく。その奮闘に応えるために誠意ある回答を求める！！

社長は青年部員の訴えを真摯に受け止め、誠意ある満額回答を！！